

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くろべ



いつか
思い出すもの

特集 「地域の宝をみんなで守る」

2020
10
October

スマイルワーカー 能澤基未さんのお話

黒部手話サークルひまわりの会

高齢者サロン「たかおかや」

【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和2年10月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。自宅での検温、来館時にはマスクの着用をお願いいたします。

うなづき 黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765)65-1820

2020 10 | 介護予防通所事業
生き生き倶楽部

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1 自力整体	2	3
4	5 健康講話	6 健康講話	7	8 健康講話	9	10
11	12 自力整体	13 健康体操B	14	15	16	17
18	19 レクリエーション	20 レクリエーション	21	22 レクリエーション	23	24
25	26 音楽教室	27 音楽教室	28	29 音楽教室	30	31
11/1	2	3 文化の日	4	5	6	7

時間/10:00~11:00 対象/65歳以上の方 参加費/150円(入館料のみ)

- 健康体操B 村田 あゆみ 先生
- 自力整体 稲田 清美 先生
- 音楽教室 畠山 悦子 先生
- 健康講話 認知症について (東部包括)

※新型コロナウイルス感染拡大予防の為、全ての教室は事前予約制です。
定員/18人 申し込み先/(0765)65-1820 徳光

くろべ 黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

2020 10 | 介護予防のための
元気はつらつ体操教室

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2 健康体操B	3
4	5	6 健康体操B	7	8 音楽療法	9 音楽療法	10
11	12	13 音楽療法	14 音楽療法	15 脳トレ	16	17
18	19	20 自力整体	21 体操	22 健康体操B	23 体操	24
25	26	27 体操	28 健康体操B	29 体操	30 自力整体	31
11/1	2	3 文化の日	4	5 自力整体	6 健康体操A	7

時間/10:00~11:00 対象/65歳以上の方 参加費/300円(入館料のみ)

- 健康体操A 樋口 瞬 先生
- 健康体操B 炭田 亮子 先生
- 音楽療法 岡島 聡子 先生
- 自力整体 稲田 清美 先生
- 脳トレ くろべ脳トレクラブ
- 体操 小森 亜希子 先生

読んで効く

健康 イスに座って簡単ストレッチ
ミニコラム 腰痛予防にも!

腰をひねる体操

両手を頭の後ろへ持っていきます。背筋を伸ばして上半身を5秒かけて横にひねります。左右交互に5~10回ずつ行います。

膝を抱える体操

椅子に座った状態で片方の膝を持ち上げます。足の力だけで上げられる所まで上げて、最後は膝を手で抱えて胸に近づけます。左右交互に5~10回ずつ行います。



今月の表紙

稲刈り後の土の香りが漂うと、大好きなおじいちゃんと一緒にコンバインに乗って稲刈りしたことを思い出します。匂いから蘇る幼い頃の記憶。思い返すと1つ1つの出来事が今につながっていると気づきます。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 **黒部市社会福祉協議会**

<http://www.kurobesw.com/>



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています

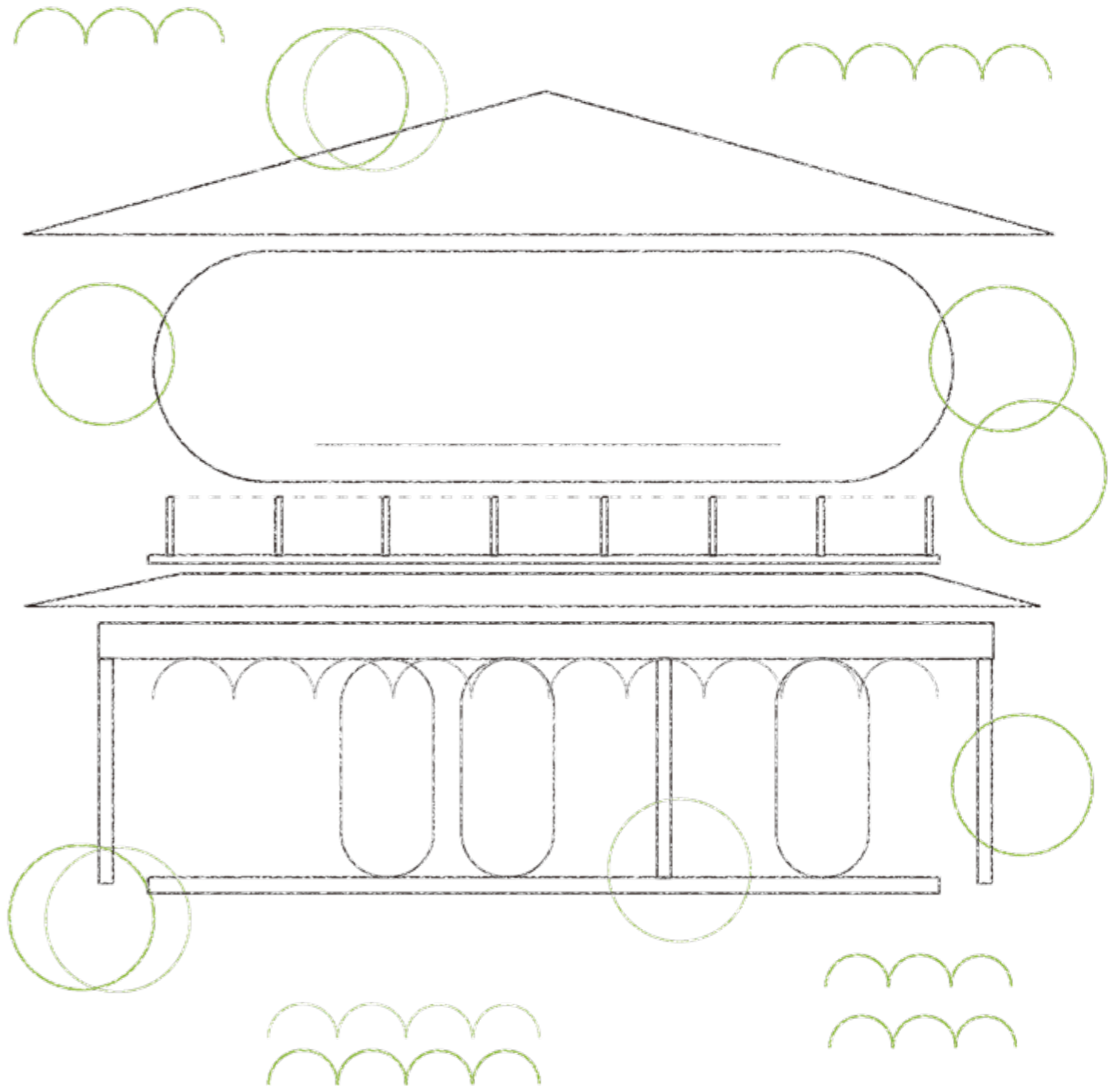


ちよこつと情報 [黒部市の人口] 40,894人 [65歳以上の人口] 12,876人 高齢化率 31.5% R2.8.31 現在

特集

地域の宝を みんなで守る

若栗地区では、地域の人たちが主体となって130年以上の歴史を持つ数寄屋造の松桜閣とその美しい庭園を守り続ける活動をしています。近所の人たちの草むしりがきっかけとなって地区全体へと広がり、活動の中心となっているNPO法人松桜閣保勝会の理事長 川村昭一（かわむら あきいち）さんから住民と一緒に地域の文化財を大切に残していく思いについてお聞きしました。



初代県知事の私邸

全国でも珍しい楼閣数寄屋建築の松桜閣は、明治16年から明治21年まで初代富山県知事の国重正文（くにしげ まさふみ）氏が私邸の離れとして使い、その後、若栗村の豪農 西田康之助（にしだ やすのすけ）氏が購入して明治24年に若栗村に移築しました。昭和6年には隣接している曹洞宗天真寺に譲渡され天真寺の住職が住居として一緒に管理していました。昭和7年には庭師城川久治（きかわきゅうじ）が近江百景を趣にした庭園を造園し、昭和31年に黒部市の文化財として指定されました。現在は年間約

始まりは近所の有志

「一人暮らしの天真寺の住職だけで庭を手入れするのは大変だろう」ということで近所に住む人々の有志によって草むしりなどの手伝いをしていました。その活動が徐々に若栗地区の住民に広がり、平成12年に「天真寺保勝会」という団体が立ち上がり、地区で庭園を管理することになりました。

平成18年頃から雨漏りや床下の腐食で松桜閣の修復が必要になりました。松桜閣を地域の宝として未来へ残すため、地域で建屋と庭園を維持管理していくことを曹洞宗や天真寺の住職にも約束して、平成19年に「天真寺保勝会」から「NPO法人松桜閣保勝会」に組織を改めました。そして大工や庭師を育成する専門学校職藝学院に依頼し、平成21年から3年間かけて修復工事をしました。「修復費用は行政も応援してくれましたし、若栗区民の皆さん、市内の企業からも多額の寄付をいただいて改築することができました」と川村さんは当時を振り返ります。また、地域の魅力を多くの人々にも知ってもらえるよう北陸新幹線の開業に合わせて庭園も2年かけて改修しました。みんなが親しみやすい文化財となり、各世帯や理解者からも毎年寄付が集まっています。川村さんは「地域の

皆さんの協力があったこそ、ここまでできているのだと思います。本当にありがたいことです」と話します。

また、たくさんの方々に興味を持って見てもらう取り組みとしてボランティアによる説明も行っています。

多くの人に支えられて

現在、約40名のボランティアと地元に住む市の職員が運営に協力しています。庭園の掃除が特に大変であり、若栗地区舌山町内会や老人会などの地区組織の皆さんも協力しています。また、市の教職員組合OBの皆さんや職藝学院などたくさんの方々の手厚い協力で美しい景観が保たれています。



改修前



改修後



川村昭一さん



▲庭木を剪定する職藝学院の学生たち

伝わる魅力

宇奈月温泉などの帰りに立ち寄る観光客や県外からのバスツアーの団体客も多く、「いろいろな方が来園し、『すばらしい庭園ですね』と言っていたり、数寄屋造りの建屋を見て感心されたいかれる姿を見るときとても嬉しくなります。中には2回、3回と来園してください方もいます。テレビや新聞でも紹介されることが増え、県内から来てくださる方や新幹線の待ち時間を利用して来る方も増えましたね」と話します。新湊から訪れたご夫婦は、「立派な造りですね。雨戸が縁側の角でくると回転して一か所にきれいに収まるのは驚きました」と感心していました。

職藝学院では毎年実習として学生が庭木の剪定をしています。「2年間学んで卒業してもボランティアとして剪定に来てくれる人もいます。経験を積み重ねて腕を磨いているんでしょね。そうやって若い人たちが技術を上げていくことに貢献できて嬉しいです。職藝学院は全国から学生が集まってきているので、松桜閣を見て歴史を学び、実習で技術を磨き、卒業後も来ていただいて、これは自分が剪定した庭園だということをお客様や知り合いに広めてもらいたいです」と川村さんは話します。

継承の心

「いろいろな方々に数寄屋造の建屋と2階から眺める庭園を見ていただければ、皆さんの心の癒しになるのではないのでしょうか。人間っていうのは、いつも働いてばかりではなくて余裕を持った生活が必要なのかなと。人間の成長過程には心の癒しが必要なのかなと思います。小学生もここで遊んでいくし、庭を走り回るのも良いことだと思います」と川村さんは話し、和みの場としても人々に愛されるような存在を目指しています。

また、ブライダルの撮影場所にもなっており、新郎新婦の両親や友達など多くの人に知ってもらう機会になっています。松桜閣では、5月に園遊会、7月に夕涼み会、9月にお月見の会があります。園遊会では若栗地区食生活改善推進員の皆さんが作る軽食と抹茶を提供しています。夕涼み会やお月見の会では、松桜閣の縁側に座って、優しい灯りに包まれた夜の庭園を見ることが出来ます。普段見ることができない夜の庭園は貴重なものであり、地元の方もゆっくりと眺めて楽しんでいきます。



▲見学する若栗小学校児童



▲園遊会の様子

閣。地域の宝として大切にされ、その取り組みから若い人たちがの文化継承と地域への愛着や誇りを育てる場にもなっています。黒部市には他にも多くの文化財があります。自分の住んでいる地域の文化財を知り、見て触れてその空間を全身で感じることで、地域の歴史もわかり、地元を大切にしたいという気持ちにつながるのではないのでしょうか。そして、一人でも多くの人が文化や歴史の継承に携わり、子どもたちにも伝えていくことで小さな頃から関心を持って地域の宝をいつまでも残したい、大切にしたいという心が育まれると思います。

実は黒部で、こんな事やっています!

Vol.5

みんなが手話で話せるように

今年で44年目を迎える黒部手話サークルひまわりの会は、地域で手話やろうあ者に対する理解者を増やしていくことを目的に、耳の聞こえない人と聞こえる人が一緒になって手話を学んでいます。

聴覚障がい者は、地域の人との交流が難しかったり、情報が入らず取り残されてしまうことがあります。ひまわりの会では手話でおしゃべりをしながら情報交換をしたり、手話コースや花見、クリスマス会など様々な活動を通してお互いを理解し合い、交流を深められます。

市内の学校や企業でも手話講習会を行っており、手話への理解者も少しずつ増えてきました。



新しい手話単語を学ぶ皆さん

黒部手話サークルひまわりの会

活動日・活動場所

毎週金曜日 19時30分～21時

三日市公民館(黒部市三日市1349)

お問い合わせ・申し込み先

黒部市社会福祉協議会 TEL.0765-54-1082



私たちが一緒に楽しく手話で交流しませんか?

活動レポート | 8月28日(金)たかおかや

みんなで楽しくいつまでも

生地地区にある高齢者サロン「たかおかや」では、約10～15名の利用者が集まっています。毎週火曜日・金曜日は女性利用者がぬりえや体操をしてボランティアの皆さんが作られた昼食を食べながら1日ゆっくりと過ごし、水曜日の午前中は男性利用者が10名ほどで体操し、午後はヨガ教室が開かれて約10名が参加しています。

いつも通っている飯沢さんと吉田さんは「友達に会えていろんな話ができるから楽しい」、「一人暮らしだから毎回ここに来るのを楽しみにしている。皆さんに良くしてもらっています」と笑顔で話されます。

市内では地域ごとに様々なサロンが開かれています。一度参加してみたいかがでしょうか。



ぬりえを丁寧に仕上げている皆さん

黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/9:30~16:00 入浴/10:30~15:30
※休憩時間、入浴時間が短縮になっております。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。

10月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日
(5日・12日・19日・26日)

11月

11月の演芸、ステージ発表は未定となっております。

休館日 毎週月曜日(2日・9日・16日・23日・30日)
祝日の翌日のため4日は休館日です

催し物と休館日のご案内

今月のクラブ

ポールウォーキング

金曜日(9日・23日)

囲碁・将棋クラブ、元気カラオケクラブにつきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月は開催を中止とさせていただきます。



誕生日のお祝いに福祉センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り・・・3,000円


お知らせ

職員募集のお知らせ

募集職員	令和2年度11月採用 ・嘱託職員(総務課) ・臨時職員(受付窓口対応)
受験資格	普通自動車免許(AT限定可)
試験内容	書類審査、面接試験
申込方法	下記の必要書類を受付窓口まで提出してください。 ・履歴書・最終学校の卒業証明書・免許証 ・その他資格証明書の写し
受付締切日	10月9日(金)まで

※詳しくはホームページまたはハローワーク求人をご覧ください。

受付・お問合せ	社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 本所 総務課 森田 TEL.(0765)54-1082 HPIはこちら
---------	--



今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談

- 黒部市福祉センター(金屋464-1) 行政相談員が同席
10月13日(火) 13:30~15:30 / 予約不要
- 黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
10月8日(木) 13:30~15:30 / 予約不要

弁護士と法律相談

- 黒部市福祉センター(金屋464-1)
10月20日(火) 13:30~15:30 / 予約受付10月1日より※先着4名
相談内容問わず、年度につき
1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター 生活自立支援相談

- 黒部市福祉センター(金屋464-1)
10月12日(月) 10:00~11:30 / 予約受付10月1日より

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、相談員の変更や中止となることがございますので、ご了承ください。

Q. お仕事に対する 思いを教えてください。

調理の仕事が好きで、食を通して子どもたちの未来に携わりたいと思い、保育園の栄養士になりました。食物アレルギーのある子どもたちに関しては、前日から他の調理師の方々とミーティングし、どの子にどんなアレルギーがあるのか確認して、当日も声をかけ合いながら準備しています。

また、子どもたちとのコミュニケーションも大切にしており、「能澤先生、おいしかったよ」と声をかけてもらった時はとてもやりがいを感じます。

今後は、子どもたちに食事を楽しいと思ってもらえるようなきっかけづくりや、食に関心をもってもらえるような働きかけをしたいです。

スマイル ワーカー



能澤基未さん
(のざわ もとみ)



社会福祉法人宇奈月福祉会
うらやま保育園
栄養士



好きなこと

体を動かすこと

写真レポート



共同募金グッズの作成にご協力いただきました

7月22日(水) / 黒部市福祉センター

桜井高等学校生活環境科の生徒の皆さんにご協力いただき、手作りの共同募金エプロンとトートバッグ、マスクケースを作成しました。これらは10月から始まる共同募金運動の際に活用させていただきます。



地域も体も元気に!

7月29日(水) / 村椿公民館(村椿地区シルバー談話室)

生地駅周辺活性化の取り組みとくろベネットの活動の説明と軽体操が行われました。住民同士で支え合ったり、まちづくりに参画することで地域が豊かになっていくことや、脳トレと転倒防止の体操を学びました。